

理を校長に委ねてます。

例えば、教育指導として総ての学校に「学校訪問」と称して、総ての教員の授業を参観し、1時間の教えるべき学習内容が明確に記され学習指導案が作成されているか、児童生徒は生き活きと学習しているかなど直接指導しています。更に、児童生徒の学力を向上させるためには、何よりも基本的な生活習慣を身に付けさせることが肝心です。

そこで、熊谷市では全市を挙げて「熊谷市の子どもたちは、これができます！」

「生朝ごはんをしっかりと食べる」

「呼びべれたら「はい」と元気よく返事をする」

「「めんなさい」と言う力友だちをたくさんつくるの四つの実践を、大人が手本となつて進め、学力向上対策の一事業として進めております。」

◆貴重な学生時代

将来、どのような人生を送るにしても、私は、いつまでも「夢を語れる人」でありたいと思っています。中学生に、「将来の夢は何?」と聞くと、暫く考え「うーん、何かな」と返答します。私は、必ず「学校楽しくないの?」と返します。体験不足なのか、将来の夢をもてない社会なのか、と考えると寂しい気がします。人は、多くの人と接し、様々な体験を通して、将来の自分の姿を想像し、夢をもち、

中でも失敗は貴重な体験

です。人は失敗すると、必ずどこが悪かったか振り返ります。しかし、成功したときに振り返ることができない人は少ないものです。日本を代表するプロバスケットボールの田臥選手は、「努力をして、練習をして勝つことはとてもすばらしいことである。次によいことは、努力をして、練習をして負けることである。そして、次に、努力や練習もせず負けることである。一番悪いことは、努力や練習もしないで、勝つことである。」という言葉を残しています。失敗を恐れず、勇気もつてチャレンジし、夢を語る人になって欲しいと思います。



全国学校ビオトープコンクール
中学校・高等学校が銀賞受賞

日本生態系協会主催により2年に1回開催される全国規模の「全国学校ビオトープコンクール」において附属中学校・高等学校は過去最高の銀賞を受賞しました。コンクールは今回で6回

方々等と関わることでかてける教職についたことを、改めて誇りに思っています。

目となり、本校は今回を含めて4回応募、初回は落選したものの、2005年度は奨励賞、2007年度は銅賞受賞、そして昨年度は銀賞を受賞しました。

この受賞は、生徒や教職員、地域の協力者、保護者の皆様をはじめ、本学園に関わる多くの方々の意識と行動が学園の自然を守り育てている結果です。

守り育て！結実

発表会並びに授賞式は、平成22年2月13日(土)に行われ、本校からは、湯山校長、河野先生(中学校講師・中高ビオトープ指導)と生徒4名(園芸ビオトープ同好会)が出席しました。

当日は、秋篠宮殿下もご臨席され、文部科学大臣賞など上位受賞校5校が、パワーポイント等を使用して舞台での発表を行い、金賞と本校はじめ銀賞受賞校は、ポスター発表を行いました。同好会の動植物調査記録、今までの活動の歴史や様々な活動記録を1枚のパネルにまとめました。

この発表会で、地方の学校では、校内に広い林や隣接する里山を利用するなどスケールの違いも実感させられました。本校のように都市の自然も大切な生態系のつながりの一つであり、動植物の貴重な道になっていることを改めて実感する良い機会となりました。

本校児童学科3年佐藤裕さんは全日本学生スノーボードテクニカル選手権大会に出場し、ロングターンシヨートターン・フリーエディング、3種目総てで競技で1位を獲得、優勝偉業を成し遂げました。彼女の健闘ぶりを紹介します。



公認サークル 学長表彰

団体表彰

フラウエンコルは、人前後で活動している女学生合唱団です。年間を通して様々なイベントに参加。また単独での演奏会や他大興4団と合同で「遊声」とう演奏会も開催しています。昨年はコンクールにも出場戦！少人数ながらも積極に合唱活動に取り組んでいます。歌うことが大好き仲間が集まったアットホームでとても温かい団です。

